

送附	五月二十日	京城仕立天衣會館「ワ」二七〇〇號車	第四六列車
送附	著者	不著	

●消費部雜報(人事)

願ニ依リ職員ヲ免ス
八月三十一日
定配 備員 藤田 利彦

局友會雜報

●從事員修養講習會開催ノ件 恒例ニ依ル首題講習會(第二十二回)
ヲ左記ノ通開催ノコトナリタルニ付參加希望者ハ來ル九月七日迄
ニ所屬長宛申出ラレタシ
記

- 一期 日 自九月十二日 四日間
- 會場 咸興府龍山豐沛館
- 講師 修養團本部理事 牧野 秀氏
- 同 朝鮮聯合會講師 中山 貞雄氏
- 會員 約百二十名(會費不要)
- 携帶品 寢具(被褥、枕、運動用白シャツ及ズボン、運動靴其ノ他日用品等)
- 尙詳細ハ庶務課社會係ニ照合ノミト

(局友會保健部)

▲鐵道關係雜誌記事目錄 一九一號ノハ
土木、建築工學 (煖房換氣を含む) (續)

定例 一個月郵稅共
金 六 十 三 錢 共

(大正十四年
四月一日)

第三種郵便物認可

(日刊除日曜及祝祭日ノ翌日)

朝鮮總督府
鐵道局 局報

第二千五百五十號

昭和十年九月六日
金 曜 日

告 示

朝鮮總督府告示第四百九十號
朝鮮國有鐵道貨物運賃ニ付左ノ通割引ス
昭和十年九月六日 朝鮮總督 宇垣 一成

- 一 品名 林 檜
- 二 發 驛 眞池洞、鎮南浦
- 三 著 驛 釜山、草梁
- 四 取扱別 車 扱
- 五 貨 率 一延ニ付 六圓三十錢
- 六 期 間 自昭和十年九月六日
至昭和十一年四月十五日
- 七 記 事 イ 所定貨率ニ依リ通計五百延以上ヲ託送シ且之ヲ輸
移出シタル者ニ對シ既收運賃ト本貨率ニ依ル運賃ト
ノ差額ヲ割戻スモノトス
ロ 本運賃割戻ノ請求ヲ爲サントスル者ハ鐵道省釜山
營業所ノ貨物運送通知書若ハ釜山税關ノ外國又ハ臺
灣仕向船積證明ヲ以テ其ノ輸移出事實ヲ證明スベキ
モノトス
ハ 本運賃ハ指定運送取扱人規則第十條第一項第三號
適用上普通運賃ト看做ス

達 示

◎達甲第五百四十號
建設工事區及臨時測量班用品現地購入取扱手續左ノ通定ム
昭和十年九月六日 鐵道局 長

- 第一條 建設工事區長又ハ臨時測量主任者(以下單ニ長、主任者ト稱ス)薪炭、石油、測量杭其ノ他之ニ類スル物品(工事材料品ヲ除ク)ノ調辦ヲ要スル場合ニシテ左ノ各號ニ該當スルトキハ本手續ニ依リ現地購入ヲ爲スコトヲ得
- 一 正規ノ手續ニ依ル物品ノ配給ヲ待ツ邊無キトキ
- 一 配給ニ際シ多額ノ費用ヲ要シ現地ニ於テ購入スルヲ有利ト認ムルトキ
- 第二條 長、主任者前條ニ依リ購入ヲ爲サントスルトキハ成ルベク二名以上ヨリ見積書ヲ徴シ適當ト認ムル者ヲシテ納入セシムベシ
- 第三條 長、主任者購入物品ヲ收受シタルトキハ納品書及請求及領收證ニ見積書ヲ添ヘ所管事務所長ニ提出スベシ
- 前項請求及領收證ニハ檢收年月日ヲ記シ長、主任者之ニ認印スベシ
- 第四條 所管事務所長前條ノ書類ヲ接受シタルトキハ納品書ニ依リ物品出納簿ニ登記シ請求及領收證ハ之ヲ經理課長ニ送付スベシ

(樣式第一號)

解讀如左

現地購入濟物品報告書

昭和 年 月分

又、鐵道事務所長、建設事務所長、

[illegible]

昭和十年九月二十五日ヨリ同十月五日迄平壤府ニ於テ開催ノ天主教

朝鮮傳來百五十周年祝賀修養大會參列者ニ對シ朝鮮國有鐵道旅客及荷物運送規則第六十一條ニ依ル旅客運賃割引ノ取扱ヲ爲ス其ノ割引區間、割引期間及適用期間左ノ如シ

昭和十年九月六日

鐵道局長

割引區間
當局線各驛(驛員無配置簡易驛ヲ除ク)竝ニ朝鮮內各
鐵道連帶驛ヨリ平壤驛行

割引期間	昭和十年九月十八日ヨリ同十月五日迄
適用期間	乗車券發賣ノ日ヨリ昭和十年十月十日迄

○通第六九六號

(營業課)

團體乘車ノ件

647
鈴鹿商店主催朝鮮視察團(トス力)

二等八名
代表者 柴田銳一氏

月 日	區 間	車 列事便名	客 車增結	旅 館名	記
九月六日	釜山署間	第七便			
九月六日	釜山城間	第七列車		備前屋	
九月六日	釜山城間	第七列車			
九月七日	京金城間	第五三二列車			全員觀察使用 ノコト
九月八日	內金剛間	自勵車			關係箇所ニ於 テ自勵車手配 ノコト
九月八日	溫井銀間	自勵車			
九月八日	溫井里間	自勵車			
九月九日	元金剛間	第七三三列車			
九月九日	元山間	第五〇一列車		咸興 松月旅館	
九月十日	京興南間	第五〇四列車			全員觀察使用 付咸興縣長手配 ノコト
九月十一日	京仁城間	第四〇五列車			
九月十一日	仁永浦間	第四一四列車			
九月十一日	釜山間	第八便			

648
全州公立農業學校(ゼシノ)

三等 三十一名
代表者 松本貞一氏

辭令

往十里
書記
村本
信志

任朝鮮總督府鐵道局副參事
敍高等官七等

八級俸下賜
往十里驛勤務ヲ命ス

村本信志

以上八月三十日

（關東軍配屬）
參事 林原 憲貞

依願免本官

往十里
副參事村本 信忠

以上八月三十一日

福機 機助見 儲人 岡野 由男

昭和十年五月二十六日炭水三番線ニ留置ノ第一八〇一號機關車給油ノ際獨斷ニテ移動ヲ爲シ之ヲ操縱ヲ誤リ約五米ノ距離ニ留置中ノ第九五七號機關車ニ激突シ兩機關車ノ一部ヲ破損スルニ至ラシメタル廉ニ依リ一箇月間日給十五分ノ一減給

雜錄

●願召者歸任 願召中ノ元機技機士雇員佐藤申八八月三十日召集解除同三十一日歸任セリ

年六月一日ヨリ左ノ通改正ス

昭和十一年五月十六日

鐵道局長

線路名稱之部「京義線」ノ項「新義州荷扱所線」ギニセ「新義州江岸線」シギセニ改ム

驛名及地名之部「新義州荷扱所線(ギニセ)」ノ項ヲ左ノ如ク改ム

○新義州江岸線(シギセ)

新義州江岸

シギ

著信用キ之部「ギニ」新義州荷扱所、「ギニセ」新義州荷扱所線「ヲ削リシ之部」シキリ 仕切網「ノ次ニ左ノ如ク加フ

シギ

新義州江岸

シギセ

新義州江岸線

○達甲第四百五十六號

昭和五年一月達第四十號各停車場常置信號機裝置表中左ノ通改正ス 實施日時ハ所管鐵道事務所長ニ於テ指定スベシ

昭和十一年五月十六日

鐵道局長

新昌驛下リ場内信號機ノ位置ヲ「235.534.00」ニ改ム

○達甲第四百五十七號

昭和八年五月達第三百七號保線區名稱、位置、受持區域中昭和十一年六月一日ヨリ左ノ通改正ス

昭和十一年五月十六日

鐵道局長

「平壤」ノ部「新義州保線區」ノ項中「新義州荷扱所線」ヲ「新義州江岸線」ニ改ム

(庶務七九頁參照)

○達甲第四百五十八號

昭和十一年五月達第四百二十八號電氣區助役、電氣手長及電氣手在勤地並受持區域中昭和十一年六月一日ヨリ左ノ通改正ス

昭和十一年五月十六日

鐵道局長

「平壤」ノ部「新義州」ノ項「新義州」ノ行中「新義州荷扱所線」ヲ「新義州江岸線」ニ改ム

(庶務八九頁參照)

○達甲第四百五十九號

昭和十年十月達第四百四十八號專用側線及局外線ノ位置、名稱及線路延長中昭和十一年六月一日ヨリ左ノ通改正ス

昭和十一年五月十六日

鐵道局長

「平壤」ノ部中「新義州荷扱所」ヲ「新義州江岸」ニ改ム

(工務四七〇ノ七頁參照)

○達乙第二百二十號

昭和十一年五月二十八日釋王寺及妙香山普賢寺ニ於テ執行ノ釋尊降誕祭參詣客ニ對シ朝鮮國有鐵道旅客運送規則第八十一條ニ依リ運賃割引ノ取扱ヲ爲ス其ノ割引區間、割引期間、適用期間等左ノ如シ

昭和十一年五月十六日

鐵道局長

一 割引區間

イ 釋王寺行ノ分

福溪高山間、安邊俗厚間、東海北部線各驛(驛員無配置簡易驛ヲ除ク)及川内里驛ヨリ釋王寺驛行往復

ロ 妙香山行ノ分

定州平壤間、平元西部線、滿浦本線、价川線、博川線各驛(驛員無配置簡易驛ヲ除ク)ヨリ妙香山驛行往復

通 牒

○通第三六二號

團體乗車ノ件

(營業課)

399 龍塘浦行勢移民(キセハ)

三等 九十名

400

大邱師範學校(キウシ)

三等 八十五名

月	日	區	列車便名	客車増結	旅館名	記	事
五月	二十三日	大邱	大邱間 第五列車	客車増結	旅館名	記	事
五月	二十三日	奉天	奉天間 第五列車	客車増結	旅館名	記	事
五月	三十日	安東	安東間 第一〇列車	客車増結	旅館名	記	事
五月	三十一日	大邱	大邱間 第一〇列車	客車増結	旅館名	記	事

401 長崎縣教育會(モナキ)

三等 十四名

代表者 梅野邦太郎氏

402 全羅南道道會議員(センナン)

二等 二十名

代表者 金信錫氏

月	日	區	列車便名	客車増結	旅館名	記	事
五月	二十二日	大邱	大邱間 第五列車	客車増結	旅館名	記	事
五月	二十二日	奉天	奉天間 第五列車	客車増結	旅館名	記	事
五月	二十二日	安東	安東間 第一〇列車	客車増結	旅館名	記	事
五月	二十二日	大邱	大邱間 第一〇列車	客車増結	旅館名	記	事

一 六月三日龍津發第五〇八列車ニ増結ノ龍津城津間運用車ハ當日限り休止ス
二 六月四日京城發第三〇一列車京城松汀里間車關閉列車給仕一名乗務スベレ

外金剛驛——溫井里

704	705	1912	703	702	911	701	732	接續列車	732	701	1911	702	703	1912	705	704
8.00	7.10	4.25	2.50	0.10	10.40	8.00	7.15	外金剛驛	7.35	8.15	11.00	0.40	8.10	4.45	7.30	8.30
7.50	7.00	4.15	2.40	正午	10.30	7.50	7.05	溫井里	7.45	8.25	11.10	0.50	8.20	4.55	7.40	8.40

(溫井里) 溫井里——六花岩

5.35	2.15	9.45	溫井里	7.00	9.10	1.40	5.00
5.20	2.00	9.30	六花岩	7.15	9.25	1.55	5.15

溫井里——神溪寺

6.20	1.25	9.05	溫井里	8.30	0.50	5.45
6.05	1.10	8.50	神溪寺	8.45	1.05	6.00

溫井里——高城——海金剛

6.45		2.10	溫井里	7.20		2.20										
	3.45	3.15	11.40	11.05	高城驛	8.30	11.15	11.45		3.20	3.50					
6.15		3.10	1.40	11.00	高城	7.50		11.50	2.50		3.55	5.40				
6.10					海金剛	7.55			2.55							
6.00	3.35		11.00			8.05	8.40	11.25	3.05	3.30		5.50				

高城——百川橋

正午	高城	9.00
11.00	百川橋	10.00

廣 告

●普通試験 本年八月七日(金曜日)ヨリ京城公立中學校内ニ於テ普通試験ヲ施行ス受験志願者ハ試験願書ニ左記書類ヲ添附シ七月二十日迄ニ本府ニ到達スルヤウ差出スベシ

昭和十一年五月 朝鮮總督府普通試験委員長 棟居 俊一

添附書類

- (一) 本籍地ノ市町村長、府尹又ハ邑面長ニ於テ左ノ各號ニ該當セザルコトヲ證明シタル書面但シ現ニ列任官待遇以上ノ職ニ在ル者ハ所屬長官ノ許可書ヲ以テ右證明書ニ代フルコトヲ得
- (二) 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- (三) 破産者ニシテ復權ヲ得ザル者
- (四) 官公署ニ勤務スル者ハ所屬長官ノ許可證
- (五) 寫眞(手札形ニテ脱帽攝影、撮影後一年以内ノモノ)ノコト
- (六) 寫眞ニハ必ず族籍、氏名及年齡ヲ記スベシ

試験科目

- (一) 國語 解釋
 - (二) 作文 論說文、書簡文
 - (三) 算術 算(四則、分數)及珠算(加減)
 - (四) 地理 本邦及外國
 - (五) 歴史 本邦及外國
 - (六) 行政法大意
 - (七) 民法大意
 - (八) 刑法大意
- 以上必須科目

- (一) 經濟學大意
- (二) 民事訴訟法及刑事訴訟法大意
- (三) 國語(内地人ニ限ル)
- (四) 朝鮮語(内地人ニ限ル)
- (五) 英文
- (六) 以上ノ科目ハ豫メ其ノ一ヲ選擇シ試験願書ニ記載スベシ
- (一) 受験者心得
- (二) 試験前日(八月六日)午後一時京城公立中學校ニ出頭シ受験番號票ヲ受取リ試験ニ關スル手續ヲ承合スベシ
- (三) 津服又ハ袴(朝鮮人ハ相當ノ服裝)著用ノコト
- (四) 筆記用具、算盤、小刀及辨當ヲ携帯スルコト
- (五) 口述試験施行ニ關シテハ追テ試験場ニ揭示ス
- (六) 試験願書及履歷書式(用紙美濃紙)

三 収入印紙

私儀今般貴府ニ於テ舉行ノ普通試験相受度別紙履歷書、證明書並ニ寫眞一葉及何何相添ヘ此段相願候也

昭和十一年 月 日

現住所 何府縣郡市町村大字番地 何道府縣郡邑面里洞番地

朝鮮總督府普通試験委員長 棟居 俊一殿

履 歷 書 何府縣郡市族平民

(右側ニ振假名ヲ附スルコト)

氏 名 年 月 日 生

